

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	エミフル			
○保護者評価実施期間	2026年1月16日		~	2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		~	2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースがコンパクトである特性を生かし、死角がなく、子ども同士の距離が自然と近くなる環境を大切にしています。お友達との関わりが沢山持つこと。「やってみよう」「一緒にやると楽しい」と思える経験が沢山出来ること。	お友達との関わりの中で学べるのが沢山あるので、いろんな人とのコミュニケーションを取りながら「失敗しても大丈夫」という環境を作り、個々のできる事を伸ばしたり、増やしていける活動を組み合わせて行っています。	小集団での協同活動の充実、役割を持って参加できる環境づくり、お友達の頑張りを認めあう声掛けの工夫などに取り組み、関わりの中で育つ力を大切に支援を行います。成功体験を積み重ねて自信に繋がれるようにします。
2	長期休業日におでかけやイベントを多く取り入れ、子ども達が普段の生活ではなかなか経験できないさまざまな体験ができるようにしている。	長期休みには予定表を作り、おたよりにて事前に情報を伝えています。出かける先での安全面を十分に配慮しながら、楽しみを見つけたり、季節を感じたり、十分に体を動かせる活動を取り組んでいます。	関わり・体験・運動のバランスを意識しながら子どもたちが「楽しい」「やってみよう」と感じられる環境づくり、計画を立てていきます。楽しみながら心身の成長につなげていけるように、子どもたちの興味、関心を広げることが大切にしています。
3	毎日決まった時間に体操・ダンス、歌を取り入れています。日々、継続して続けていくことで見通しが持ちやすくなり子どもたちが安心して参加できる環境づくりに繋がっていること。	繰り返し取り組むことで少しずつ自信が育ち、楽しみながら自然と体を動かし、表現する力を育めるように行っています。子どもたちのリクエストを聞いて多数決で決めることもあります。	体操、歌が苦手でも「見学」「手拍子だけ」「好きな部分だけ参加」などの段階的な関わり方を認める。また、多数決で選ばなかったときの悔しい気持ちを言葉にできるように受け止めるなど、集団の中でも自分の思いは大切にされていると感じられる声掛けなどを行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や交流会の開催などで保護者同士の交流の機会があまり出ていない。	コロナの時期から感染症の恐れがあり、大人数での開催をすることで感染症の広がりがあがることを懸念している。	保護者の方から交流会などを行ってほしいという意見もあるので、昨年度より保護者会を行い、保護者同士の交流の場を設けたが、参加したくても予定があり参加できなかった方もいるので、今後もっと交流の機会を少しずつ増やしていきます。
2	放課後児童クラブなどとの交流や地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	知らない場所や初めて出会うお友達との関わりで不安を感じてしまう子もいるので、慎重に予定を組む必要があったため、交流の機会をなかなか持つことができていません。	地域とのつながりや、多様な人との関わりは、子どもたちの経験の幅を広げ、社会性を育む大切な機会なので、一人ひとりの特性や気持ちに寄り添いながら、無理のない形で地域のイベントや子どもセンター等の参加機会を少しずつ増やしていきます。
3	家族に対して家族支援プログラムや家族等参加できる研修会や情報提供の機会等があまり行われていない。	保護者のニーズ把握が十分ではなかった。研修・講演会などの外部情報を収集・整理する仕組みがあまりなかった。	今後、保護者の方の意向などを把握していく。また、さがみはら子どもの福祉連絡協議会に参加しているため、情報提供などがあれば保護者の方に情報提供していきます。ご家庭と連携しながら、お子さまの成長を共に支えていける体制づくりをします。